Kunita
ひまわり
国田地区自治実践会会報（No.48）2025・3・31
実践会ホームページ　http://www.kunita-mito.com/

私たちは、水戸市民憲章の推進、地区相互の連絡調整、意見の交換及び事業の計画樹立を行い、豊かで潤いのある住みよい国田をつくります。

水戸市民憲章

1　自然を愛し　美しいまちにしましょう
1　教養を深め　文化の高いまちにしましょう
1　仕事に励み　豊かなまちにしましょう
1　きまりを守り　住みよいまちにしましょう
1　心を合わせ　楽しいまちにしましょう

社協だより

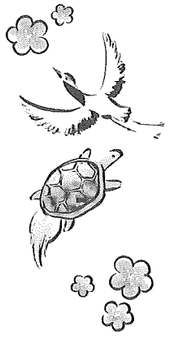
米寿のお祝い

水戸市社会福祉協議会国田支部長　折笠　慶子

水戸市社会福祉協議会国田支部では、米寿を迎えられました皆様に、祝賀メッセージと季節の花鉢をお贈りしています。

令和六年度下半期（十月～三月）に米寿を迎えられました皆様、おめでとうございます。

十月　萩野谷桂子様（田谷町）
十一月　該当者なし
十二月　該当者なし
一月　萩野谷　毅様（田谷町）
　　髙根　梅代様（下国井町）
　　山田　諄　様（下国井町）
二月　薗部　幸一様（下国井町）
　　石川　博　様（下国井町）
　　笹嶋　舜　様（上国井町）
三月　髙沢健太郎様（田谷町）
　　高安　庄重様（田谷町）
　　綿引　春江様（下国井町）



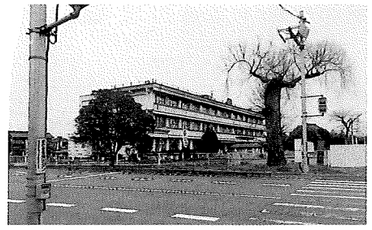
（その他活動）

福寿のつどい

ふれあい食事会

ふるさと探訪シリーズ⑯

小学校跡地柳の木の由来と、国田小学校名称の歩み



明治六年田谷小学校、同八年国井小学校が出来る。同二十二年、市町村制施行により国田尋常小学校が出来、昭和十六年国田国民学校と改称、同二十二年国田村立小学校となる。同三十二年六月一日水戸市に合併し水戸市立国田小学校となる。平成二十八年閉校となり、小中学校合併し国田義務教育学校となる。

小学校跡地の柳の木は、尋常小学校開校式典時に那珂湊選出議員が来賓として来、柳の枝の杖をついてきました。初代村長　大曽根貞が腰が痛く杖を譲り受けました。その後家の庭先の畑に何気なく刺しておいた所、根が生えて縁起が良いと校庭に植えました。何度か移転したり枯れましたが、その度那珂川河川敷の柳を移植し現在に致っています。国田の象徴木である、多くの卒業生を見送り国田市民を高い所から温かく見つめています。前を通った時は柳を見つめ小学校時代を思い出すのもよいでしょう。

国田歴史研究会
渡邉　茂記（下国井）

さわやか国田学園だより②

地域とともにある学校

校長　森田　理恵子

早いもので、令和6年度も残りわずかとなりました。

九年生が無事卒業式を終え、十七名全員が希望する道へ進むことができました。一年生から八年生は、それぞれの学年での活動を振り返りながら、次の学年に向けて心構えや目標を確認しているところです。

地域のみなさまには、田植えや稲刈り等の農業体験、国田太鼓や棒術さらには登校時の立哨指導など様々な面においてご支援・ご協力をいただきました。また、国田まつりや福寿のつどいなど、様々な場で生徒たちに活動の機会を与えていただきました。みなさまのおかげで、児童生徒が充実した体験・経験ができ、かつ、安心・安全な学校生活を送ることができました。ありがとうございました。

今後も、自ら考え、自ら進んで取り組む児童生徒を育成していく所存です。地域のみなさまの変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

国民市民センターだより①

移動学習

2月6日、常総市方面への移動学習を開催しました。

最初の目的地は「道の駅常総」です。令和5年4月にオープンし、「食のテーマパーク」というだけあって、常総市の農産物のほか、県内全域の食材や加工品、土産品などを販売しています。あまりの種類の豊富さに目移りしてしまいそうでした。

「あすなろの里」で昼食の後、「モリナガ　スマイルファクトリー」に向かい、厳しく衛生管理された乳製品の製造ラインを階上から俯瞰する形で見学しました。天気にも恵まれ、普段は入ることのできない場所を見ることができ、とても有意義な一日となりました。

国民市民センターだより②

図書コーナーのご案内

所長　小園江　雄一

市民センターでは、各種講座や教室の開催、証明書の発行や税金などの収納業務のみを行なっていると思っている方々が多いのかもしれません。

実は、こうした業務以外に図書の貸出しを行っているのを御存じでしょうか。芥川賞・直木賞作家の作品をはじめ、テレビドラマ化された本、郷土資料などを幅広く取りそろえています。さらに、市民センターにない本は市立図書館からお取り寄せすることもできます。また、絵本を中心とした児童書コーナーも充実しています。

ぜひ本を御覧にいらしてください。お待ちしております。

国井駐在所だより

茨城県水戸警察署　国井駐在所　高崎　晃一

国井駐在所電話なくなる

回覧

お知らせ　水戸警察署 駐在所宛先 029-233-0110

駐在所の電話回線を終了し、水戸警察署の電話番号に統一します。
警察に対する通報（連絡）の適切な取扱いと警察署と駐在所の連携強化のため、駐在所の電話回線を終了し、住民の方からの通報（連絡）を管轄警察署で一括して受理することになりました。
駐在所の電話回線は、令和7年3月31日をもって終了いたしますので、4月1日以降、駐在所への電話連絡は、
水戸警察署
（029－233－0110）
にお掛けください。
直接、駐在所の勤務員とお話ししたい場合は、駐在所におつなぎいたします。
なお、
① 事件・事故等で至急警察に連絡される方は、「110番」
② 相談がある方は、「#9110」
にお掛けください。
ご理解とご協力をお願いいたします。

●広報編集委員

石川　幸一（広報部長）
宮田　久雄（環境整備部）
小野　芳博（スポレク部）
山中　広（防災防犯部）
折笠　慶子（福祉厚生部）
井笠　孝子（生涯学習部）

●編集後記

恒例行事が普通の形でできる喜びを感じていたところ、各地で大規模な火災災害などが発生しており、被害の大きさに胸を痛める日が続いております。今年度初めて双葉台地区及び国田地区合同防災訓練が開かれ、地域の防災への交流ができました。その話の中で国田地区に行ったことがないわと言われてしまい、ちょっぴりがっかりしました。「合同歩く会」開催案については必ず実施したいと思いました。災害時の地域の連携の大切さを改めて感じました。

尚、広報紙「ひまわり」の発刊にあたり、ご協力くださった関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

（広報部長　石川幸一）

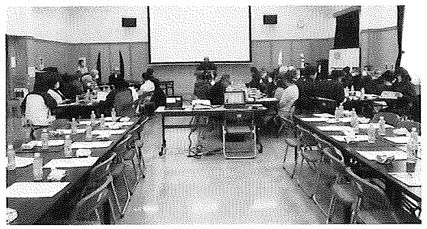
令和六年度 双葉台地区及び国田地区合同防災訓練（研修）

防災防犯部長　山中　芳博

令和7年3月8日、双葉台市民センターにて国田地区より26名の役員、合わせて50名で合同防災研修会が初めて開催されました。

目的として、洪水時における地域間の連携協力、災害について平時からの合同訓練研修です。各地区代表の講演の後、グループ分けをし意見を交わしました。

両地区の地域性・環境・地域組織、そして、国田地区は、過去の水害について、双葉台地区は、東日本大震災時の状況や対応をお互い説明し、今後の地域連携の在り方を話した中で、もっとお互いの地域を知ることが大切ではないか？その地域を歩きながら見て・感じる「合同歩く会」開催案などが出るなど、より良い研修会が出来ました事をご報告申し上げます。



また、それぞれが地域で抱える問題や取り組みを知ることで自分達の問題解決のキーワードを得られる事や、この地域連携は、恒久的に継続されるので将来の世代がきちんと受け継いでいく組織作りが必要ではないかと感じました。

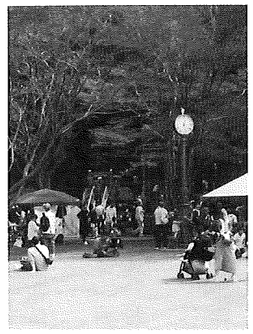
スポレク部だより

歩く会を終えて

スポレク部長　小野　広

今回は遠隔地ではなく地元をゆっくり歩いてきました。市民センターを出発し、薬師寺～安川城跡～水戸北飛行場跡～IFAフットボールセンター＆JA教育センターそして七ツ洞公園で開催されていた七ツ洞フェスティバルで腹ごしらえして市民センターに帰ってきました。普段は車で素通りすることが多いのですが、今回はじっくり地元国田を見て回ってきました。

参加者が少なかったので次回はもう少し増えるように企画していきます。

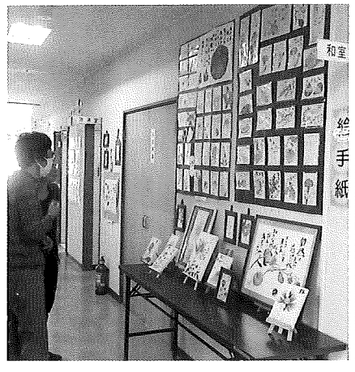


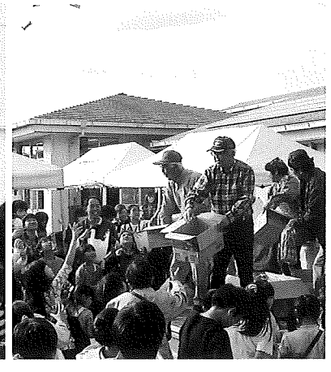
七ツ洞フェスティバル

地域がひとつになって 第十五回国田まつり開催

6年11月17日（日）国田市民センターにおいて、第15回国田まつりが開催されました。生涯学習フェスティバルと合同で2回目の開催となりました。ホールステージでの発表会・屋外駐車場敷地内でのイモ煮の販売・その他焼きイモ・収穫もち米によるお赤飯販売など、最後に豪華賞品の当たる抽選会などの催しが行われました。

ホールステージでの発表会では、三味線奏者姉弟の演奏とても感動致しました。国田地区の交流の輪を広めることができました。（広報部）





青空のもと地域の絆を深める市民運動会

熱心に剣道稽古に励む子どもたち

国田少年剣友会　戸﨑　聖

剣道を行う人口が年々減少するなか、子どもたちは元気に稽古に取り組んできました。基本動作を忠実に繰り返し、また、各々直すところを意識して練習を重ねてきた結果、茨城県代表として、日本武道館で行われた全国大会に出場することができました。監督としてうれしく思います。

全国のハイレベルな技術に届くよう、今後も稽古に励み、心身ともに成長できるよう頑張っていきたいと思います。

先鋒：小田倉 昊輝、中堅：戸﨑 碧、大将：横尾 壮祐、監督：戸﨑 聖

福井県敦賀市を訪問して

国田義務教育学校
六年　小田倉　昊輝

ぼくは、夏休みに水戸市の姉妹都市親善友好少年交歓使節団の一員として敦賀市を訪問し、様々な研修を行いました。水戸市は昭和40年から姉妹都市になっています。

まず、水戸藩の天狗党をまつる松原神社を参拝したり、地引き網体験をしたりして、敦賀の歴史や水戸市とのつながりをたくさん学びました。さらに、敦賀市の六年生と宿泊し楽しく交流を深めることができました。

敦賀市はとても素晴らしい自然や歴史がたくさんあり、今後も長く交流が続くと良いと思います。

史跡　武田耕雲斎本陣跡　にて

さわやか国田学園だより①

百五十周年記念事業実行委員会
実行委員長　石川　敦史

早春の候、国田地区の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は本地区の活動にご理解ご協力を頂きまして、深く感謝申し上げます。

さて、今年は、国田小学校として百五十周年を迎えます。本年十一月一日に記念式典を開催し、五十年前に開かれました百周年記念事業にて埋められたタイムカプセルの開封及び公開を準備しております。この事業が、地域、児童生徒、卒業生、学校にとって思い出に残る事業となるよう計画しております。つきましては、開催にあたり、地域の皆様に賛助金のご協力をお願いする事となりました。皆様のご厚意、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

地域にとって、教育施設とは重要な物です。子や孫が在籍している、在籍していないは関係なく、未来を担う子どもたちの存在は、地域そのものの活性化に繋がります。この記念事業が、地域と共にある学校・幼稚園、地域で育む教育を考えるきっかけとなり、児童生徒、卒業生、地域が結ばれる事を切に願っております。皆様の、あたたかいご厚意、ご参加を、実行委員一同、お待ちしております。何卒、ご理解のほど、宜しくお願い申し上げます。